

# 組織内相互教育型安全対策とは

一般社団法人 林業技能教育研究所

安全パトロール=安全対策ではありません

安全パトロールは安全対策を行うための現場調査です。



安全パトロールを行っても、そこで得られた情報をもとにした、  
具体的対策を立てなければ行動や環境は改善されません。



## 組織内相互教育とは

### 組織の中で互いに教えあう

例えば、伐木に関する技術や技能

例えば、熱中症対策など健康管理

例えば、作業班内のコミュニケーション方法 など

テーマに合わせて

**組織の中の得意な人が講師を務め研修を行い、作業を安全に行うために必要な知識や技能を身につける教育方法です。**

## 組織内相互教育のメリット

### ▷教育の自立と機会の増加

→外部機関や人材に頼らずに、組織内の教育を充実させることができ、教育の機会の充実を図ることができます。

### ▷指導者の育成

→「教える＝学ぶ」

教えることは指導者自身の学びにもなります。

また、指導力を向上させるためには、指導の経験が不可欠です。

指導の機会を多く持つことは、質の高い指導者の育成に繋がります。

## 組織内相互教育サポートサービス内容

### ▷何を誰に教えるべきかを計画します

→ヒアリング内容や、安全パトロールなどの情報を分析し、実施が必要な教育プログラムを計画します。

### ▷講師のサポートをします

→何をどのように教えれば良い？研修の前に必要な準備は？資料は？など、最初は分からないことも多いと思います。

そこで、研修前の準備から研修中まで、講師のサポートをいたします。

### ▷マニュアルを作成します

→次回以降の研修のために、実施内容をもとにマニュアルを作成します。